

# 輸入米高値に見せかけ

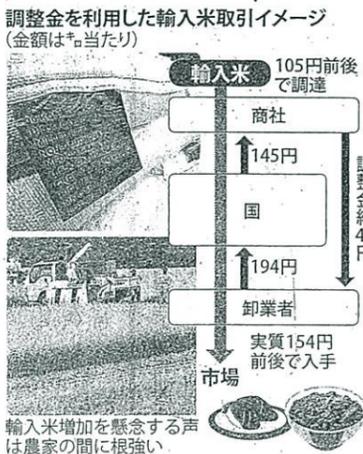
## 「調整金」還流 国は放置

H28.9.14 毎日新聞

安すぎる外国産米が輸入されないよう国の管理下で行われている「売買同時入札」(SBS)を巡り、業者間で輸入価格を事実上より高く見せかける取引が横行していたことが内部資料などで分かった。農水省は外部からの指摘を放置していた。同省は「環太平洋パートナーシップ協定(TPP)承認のために「国産米と輸入米の価格が同水準」と農家を説得してきたが、外国産米は国の説明より安く流入しており、TPPによる輸入枠拡大に向けて対応が問われそうだ。(社会面に関連記事)

### TPP説明と矛盾

SBSにはコメを輸入する商社と卸業者がペアを組んで参加、国は輸入米の平均価格を公表している。現在のSBSの輸入枠の上限は年間10万トンだが、TPPが発効すれば最大計7万8400トンの枠を新設することが決まっている。安値の輸入米増加を懸念する声は農家の間に根強い。



輸入米増加を懸念する声は農家の間に根強い。

卸業者は、農産品を巡るTPPの日本協議が激化していた14年10月、調整金の存在を同省にメールで伝え、担当者は「一部商社の独自の商慣行」などとして対応しなかった。その後、同省は「SBS米の価格は国産米と同水準。TPPは国産米の価格に影響しない」との説明を続けた。

コメの売買同時入札(SBS) 1993年の関税貿易一般協定(GATT) ウルグアイ・ラウンド合意を受け、主に主食用の上質の輸入米を受け入れるために95年度から始めた入札。国が商社から輸入米を買い入れ、事実上の関税を乗せ、卸業者に売り渡す。買入れ価格と売り渡し価格には予定価格が設定されている。輸入されたコメは牛丼や回転すしのチェーン店などで使われ、インターネットでも販売されている。

「1」の説明を続けた。農水省は「調整金の存在外に赴任し、連絡が取れない」という。複数の商社や卸業者が調整金の存在を認めないが、兼松は「回答は差し控えたい」とした。

### 輸入米価格偽装

# 「だまされたのか」 憤る農業関係者

## 憤る農業関係者

H28.9.14 毎日新聞

外国産の安いコメが、国産米に近い価格で流入しているように見せかける取引の存在が毎日新聞の取材で明らかになった。国産米を守るはずの制度を骨抜きにする商慣習は、業界内で「けた履き」と呼ばれていたという。農業関係者からは「国は知らないふりをしている」と指摘し、農業関係者からは「だまされたのか」と憤る声があがっている。

「初めて知った時は、輸入米の売買同 複数の大手商社とペアを組んで、輸入米(SBS)で、を組み、けた履きを繰り返しているのかと思っ 総合商社「兼松」など、繰り返しきた東日本の

卸業者は「談合のようなものですかね。本当はよくないんだけど」と打ち明け、手口の詳細を語った。卸業者はまず商社側の関税を乗せ、卸業者は売却。この時の価格を農家に渡して

公表するが、商社は裏で国から受け取った代金を調整金に充てて卸業者に渡していた。安すぎる輸入米が流入しないよう、国は予定価格を設定している。卸業者は「あんまり安い値段は駄目ですよ」という数字があったので、けた履きを繰り返していた。国は「あんたらが勝手にやっていた」という態度だが、知っている」と証言する。

「調整金」の存在をめぐり、農協関係者は「調整金で外国のコメが不当に安く流入すると国産米は不利な競争を強いられ、国内農家が損害を被ることになる。農家を助けるべき水産省が農家をたまたま行方を放置していたのだから問題だ」と話した。また、北陸地方のTPP農家の男性(仮名)は「調整金の存在をめぐり、農家は誰も知らないが、公表価格より安く売られていたら、それはだまされた。勉強熱心な若手も増えているので、本当の価格を教

### 徹底した情報開示必要

海外から輸入されるコメの「価格偽装」が横行していた背景には「輸入米を受け入れつつ、国内農家を苦しめる」の矛盾がある。国は関税貿易一般協定(GATT) ウルグアイ・ラウンド合意で、主食用米の受け入れを約束した。国際公約である以上、一定の輸入実績が求められるようになったが、農家が猛反発する取引を避ける必要もあった。

こうした場合、輸入米を高く見せかける偽装は国、商社、卸業者いずれにとっても都合が良かった。業界関係者は「国と企業が一

体となって国産米の正当な競争力をひた隠しにしてきた。農家が「被害者」と指摘する。環太平洋パートナーシップ協定(TPP)を巡って、国は「国産米より大幅に安い輸入米が国内で流通している」とは「ない」と理解を求めてきたが、国民の見えないところで説明と食い違っている。TPP発効には農家や国民の間に慎重論もある。

「輸入米を高く見せかける偽装は国、商社、卸業者いずれにとっても都合が良かった。業界関係者は「国と企業が一

「調整金」をめぐり、農協関係者は「調整金で外国のコメが不当に安く流入すると国産米は不利な競争を強いられ、国内農家が損害を被ることになる。農家を助けるべき水産省が農家をたまたま行方を放置していたのだから問題だ」と話した。また、北陸地方のTPP農家の男性(仮名)は「調整金の存在をめぐり、農家は誰も知らないが、公表価格より安く売られていたら、それはだまされた。勉強熱心な若手も増えているので、本当の価格を教

# 5年以上高値偽装

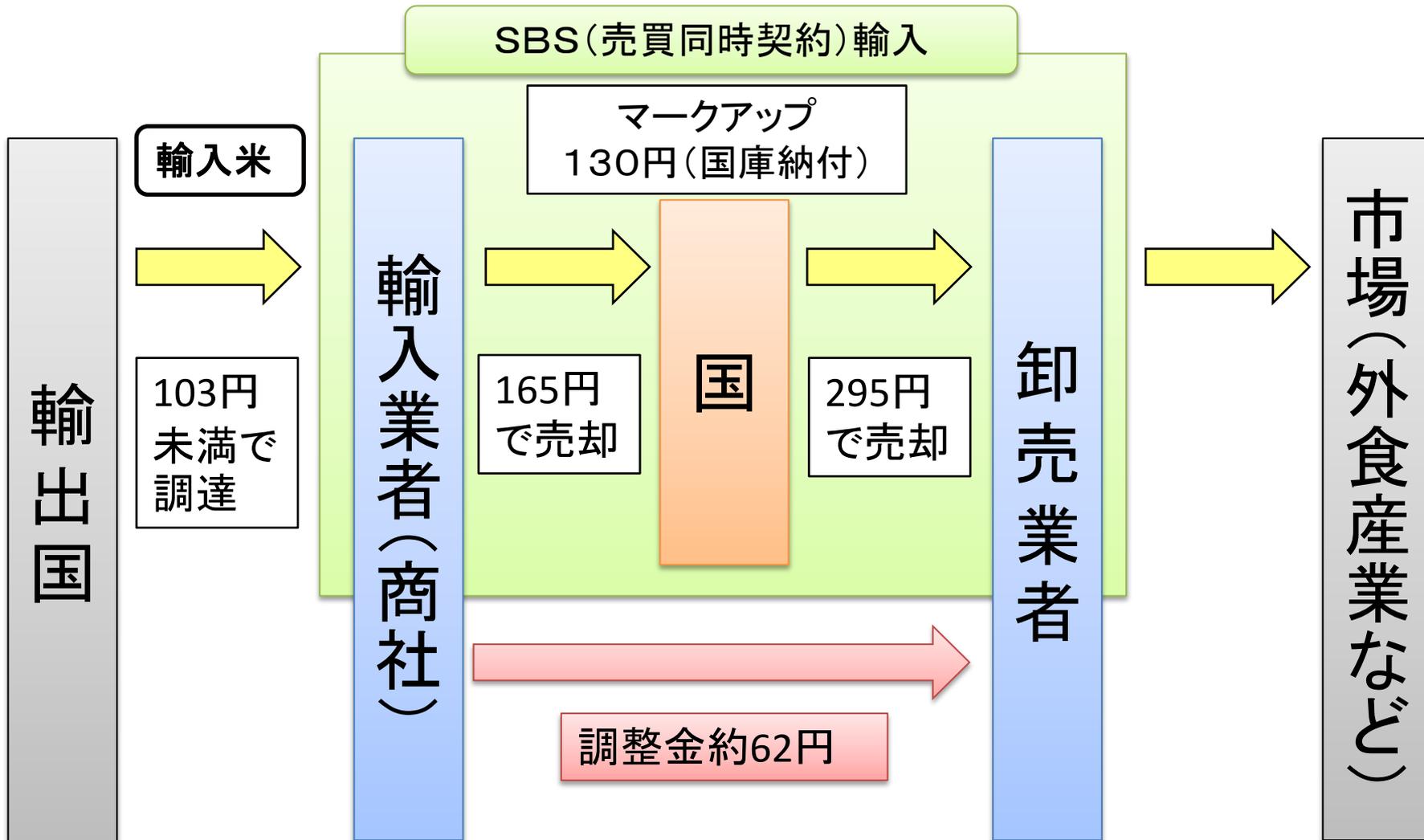
## 輸入米調整金 兼松、認める

H28.9.15 毎日新聞

国の管理下で行われる外国産米の「売買同時入札」(SBS)を巡り、総合商社「兼松」(神戸市)などが輸入価格を事実上より高く見せかける取引を繰り返していた問題、兼松は14日、少なくとも5年以上前から同様の取引を行っていたことを認めた。価格を高く見せかけて落札したうえで「調整金」を卸業者に支払わなければ国内で輸入米が売れないと理由を説明した。一方、山本有「農家は同日、事実関係を調査する方針を明らかにした。

「調整金」をめぐり、農協関係者は「調整金で外国のコメが不当に安く流入すると国産米は不利な競争を強いられ、国内農家が損害を被ることになる。農家を助けるべき水産省が農家をたまたま行方を放置していたのだから問題だ」と話した。また、北陸地方のTPP農家の男性(仮名)は「調整金の存在をめぐり、農家は誰も知らないが、公表価格より安く売られていたら、それはだまされた。勉強熱心な若手も増えているので、本当の価格を教

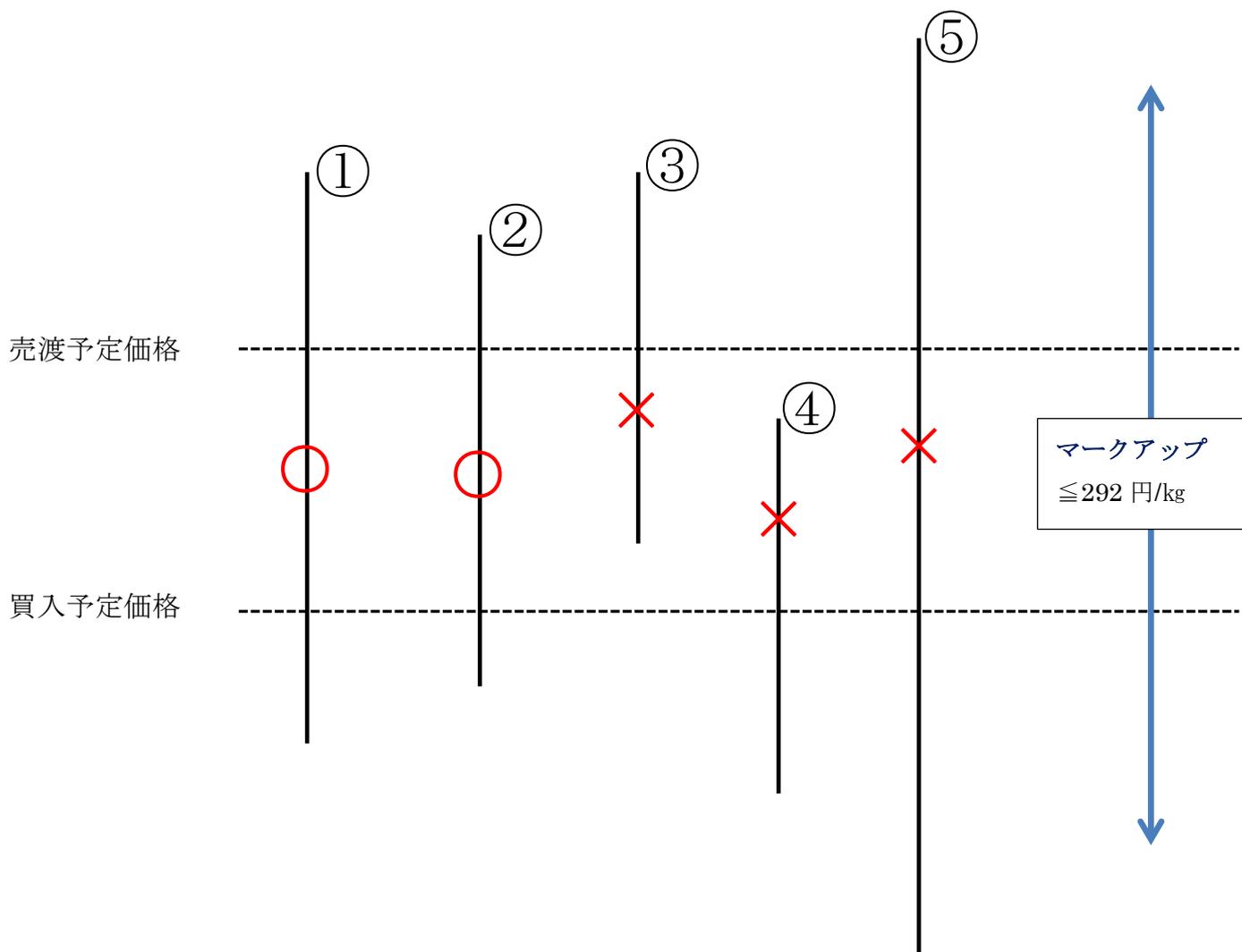
「調整金」をめぐり、農協関係者は「調整金で外国のコメが不当に安く流入すると国産米は不利な競争を強いられ、国内農家が損害を被ることになる。農家を助けるべき水産省が農家をたまたま行方を放置していたのだから問題だ」と話した。また、北陸地方のTPP農家の男性(仮名)は「調整金の存在をめぐり、農家は誰も知らないが、公表価格より安く売られていたら、それはだまされた。勉強熱心な若手も増えているので、本当の価格を教



実質的に  
 $295円 - 62円 = 233円$   
 $233円 + \text{マージン}$ で販売?

## SBS（売買同時契約）方式について

輸入業者と卸売業者等がペアで応札し、マークアップ（売買差額）の大きい方から落札。



- (1) 売買予定価格の上下限をクリアー
- (2) マークアップの上限（292 円/kg）をこえるものは不採用
- (3) (1) の採用札のうち、売買差額の大きいものから、順次契約予定数量に達するまでのもの

# 国産米の価格と米国産SBS価格(うるち精米短粒種)との比較

□ SBSにより輸入される米は、低価格の国産米の価格水準を見据えて、国内に流通。

円/kg(精米ベース)



注1: 国産米の価格は、平成17年産以前はコメ価格センターの価格、18年産以降は相対取引価格。

注2: コメ価格センター価格は、消費税等を含まないものであり、玄米の価格(年産ベース)を精米換算(とう精代等は含まない)したもの。

注3: 相対取引価格は、消費税等を含まない価格を試算したものであり、玄米の価格(年産ベース、当該年産の出回りから翌年の10月までが対象)を精米換算したもの。26年産については、27年4月までの価格を使用。

注4: 米国産SBSの政府買入価格は港湾諸経費を含む。(加重平均価格)

注5: 平成26年度は米国産うるち精米短粒米のSBS買入実績がないため、SBSの政府買入価格及び売渡価格のデータはなし。

注6: 為替レートは、年平均のもの。「International Financial Statistics Yearbook」(国際通貨基金)。26年については、暫定的に東京三菱UFJのTTSを使用。

御中

## &lt;平成24年度第1回SBS入札応札結果&gt;

商品	数量		売渡価格	買入価格	Mark Up
中国産 131 2011年産 精米	400MT	札価格	¥164,999	¥295,000	¥130,001
		実質	¥103,000	¥233,000	¥130,000
		調整金		¥62,000	
契約番号	揚港	包装	名義卸	札賃料	
(24)S0035	大阪	30kg 紙袋	様	上記に含む	

商品	数量		売渡価格	買入価格	Mark Up
アメリカ産 コシヒカリ 2012年産 精米	40MT	札価格	¥159,999	¥277,000	¥117,001
		実質	¥147,000	¥259,000	¥112,000
		調整金		¥32,000	
契約番号	揚港	包装	名義卸	札賃料	
(24)S0036	大阪	30kg 紙袋	様	上記に含む	

商品	数量		売渡価格	買入価格	Mark Up
アメリカ産 あきたこまち 2012年産 精米	40MT	札価格	¥154,999	¥277,000	¥122,001
		実質	¥142,000	¥259,000	¥117,000
		調整金		¥18,000	
契約番号	揚港	包装	名義卸	札賃料	
(24)S0037	大阪	30kg. 紙袋	様	上記に含む	

商品	数量		売渡価格	買入価格	Mark Up
中国産 131 2012年産 精米	300MT	札価格	¥164,999	¥292,000	¥127,001
		実質	¥103,000	¥230,000	¥127,000
		調整金		¥62,000	
契約番号	揚港	包装	名義卸	札賃料	
(24)S0038	大阪	1mt フレコン	様	上記に含む	

商品	数量		売渡価格	買入価格	Mark Up
中国産 131 2012年産 精米	200MT	札価格	¥164,999	¥290,000	¥125,001
		実質	¥103,000	¥228,000	¥125,000
		調整金		¥62,000	
契約番号	揚港	包装	名義卸	札賃料	
(24)S0039	大阪	30kg 紙袋	様	上記に含む	

商品	数量		売渡価格	買入価格	Mark Up
中国産 渤海K 2012年産 精米	100MT	札価格	¥164,999	¥290,000	¥125,001
		実質	¥139,000	¥259,000	¥120,000
		調整金		¥31,000	
契約番号	揚港	包装	名義卸	札賃料	
(24)S0040	大阪	1mt フレコン	様	上記に含む	

平成24年度第1回SBS輸入米の見積合せ結果の概要

昨日(9月25日)、標記見積合せを実施し、契約予定数量(25,000トン)全量が落札されました。  
なお、詳細は別紙のとおりです。

(お問い合わせ先)  
生産局農産部貿易業務課  
担当者: 山下  
代 表: 03-3502-8111 (内線5018)  
フイデイン: 03-6744-1368  
担 当 者: 久染  
代 表: 03-3502-8111 (内線5011)  
フイデイン: 03-6744-0585

種類	数量	買入価格	買入価格(税込)	売渡価格	売渡価格(税込)
うるち精米短粒種	4,630	155,079	162,833	280,439	294,461

輸入米に係るSBSの結果の概要

(平成24年度第1回/平成24年9月25日実施)

(単位:トン、円/トン)

産地別等	全 体		一 般 米 粒								特 殊 米 粒							
	申込数量	決定数量	申込数量	結 果 の 内 容				申込数量	結 果 の 内 容									
				種 類	数 量	買入価格	買入価格(税込)		売渡価格	売渡価格(税込)	種 類	数 量	買入価格	買入価格(税込)	売渡価格	売渡価格(税込)		
アフリカ	24,108	6,924	1,044	うるち玄米短粒種	36	159,000	166,950	250,000	294,000	5,060	うるち特精米	428	66,694	70,029	118,916	124,862		
			12,060	うるち精米短粒種	4,630	155,079	162,833	280,439	294,461	216	もち特精米	216	85,000	89,250	137,000	143,850		
			720	うるち玄米中粒種	196	105,000	110,250	225,200	236,460									
			4,522	うるち精米中粒種	1,416	113,538	119,215	233,864	245,557									
			486	もち玄米短粒種	0	0	0	0	0	0								
			18,832	小 計	6,280	144,156	151,364	268,193	281,603	5,276	小 計	644	72,834	76,476	124,982	131,231		
イリア	85	0		うるち玄米短粒種	0	0	0	0	0									
				うるち精米中粒種	0	0	0	0	0									
				小 計	0	0	0	0	0									
オーストラリア	25,151	4,124	22,919	うるち玄米短粒種	2,471	138,610	145,941	257,947	276,214		うるち特精米	0	0	0	0			
				うるち精米短粒種	0	0	0	0	0									
				うるち玄米中粒種	0	0	0	0	0									
			2,632	うるち精米中粒種	1,653	118,781	124,689	240,974	253,023									
			25,151	小 計	4,124	130,650	137,183	250,785	263,324									
カンボジア	0	0		うるち特精米	0	0	0	0	0		うるち特精米	0	0	0	0			
				小 計	0	0	0	0	0									
インド	0	0		うるち精米長粒種	0	0	0	0	0									
				小 計	0	0	0	0	0									
パキスタン	40	0		うるち精米長粒種	0	0	0	0	0									
				うるち特精米	40	73,999	77,699	209,000	219,450	2,328	うるち特精米	598	57,397	60,077	108,402	113,822		
				もち特精米	36	0	0	0	0	0	444	もち特精米	244	75,000	78,750	126,770	133,109	
			492	小 計	40	73,999	77,699	209,000	219,450	2,772	小 計	842	132,397	138,827	235,172	246,931		
タイ	3,264	882	456	うるち精米長粒種	40	73,999	77,699	209,000	219,450	2,328	うるち特精米	598	57,397	60,077	108,402	113,822		
				もち特精米	36	0	0	0	0	0	444	もち特精米	244	75,000	78,750	126,770	133,109	
				小 計	40	73,999	77,699	209,000	219,450	2,772	小 計	842	132,397	138,827	235,172	246,931		
ミャンマー	506	0		うるち玄米短粒種	0	0	0	0	0									
				うるち精米短粒種	0	0	0	0	0									
				小 計	0	0	0	0	0									
ウズベク	220	0		うるち玄米短粒種	0	0	0	0	0									
				うるち精米短粒種	0	0	0	0	0									
				小 計	0	0	0	0	0									
中国	35,400	12,264	1,450	うるち玄米短粒種	0	0	0	0	0	208	うるち特精米	208	100,000	105,000	150,000	157,500		
			33,702	うるち精米短粒種	12,016	167,293	175,658	290,627	305,158									
			40	うるち玄米中粒種	40	179,999	188,999	320,000	336,000									
				もち玄米短粒種	0	0	0	0	0									
				もち精米短粒種	0	0	0	0	0									
			35,192	小 計	12,056	167,335	175,702	290,724	305,260	208	小 計	208	100,000	105,000	150,000	157,500		
ミャンマー	900	500		うるち特精米	500	51,700	54,283	102,100	107,285		うるち特精米	500	51,700	54,283	102,100	107,285		
				小 計	500	51,700	54,283	102,100	107,285									
ベトナム	804	306		うるち特精米	306	50,500	53,025	101,000	106,050		うるち特精米	306	50,500	53,025	101,000	106,050		
				小 計	306	50,500	53,025	101,000	106,050									
			90,178	25,000	80,518	22,500	153,973	161,674	276,970	290,819	9,860	2,500	64,796	68,036	115,760	121,848		

(参考) 有効申込数量は180,178トン、有効申込件数は1495件、契約件数は137件であった。

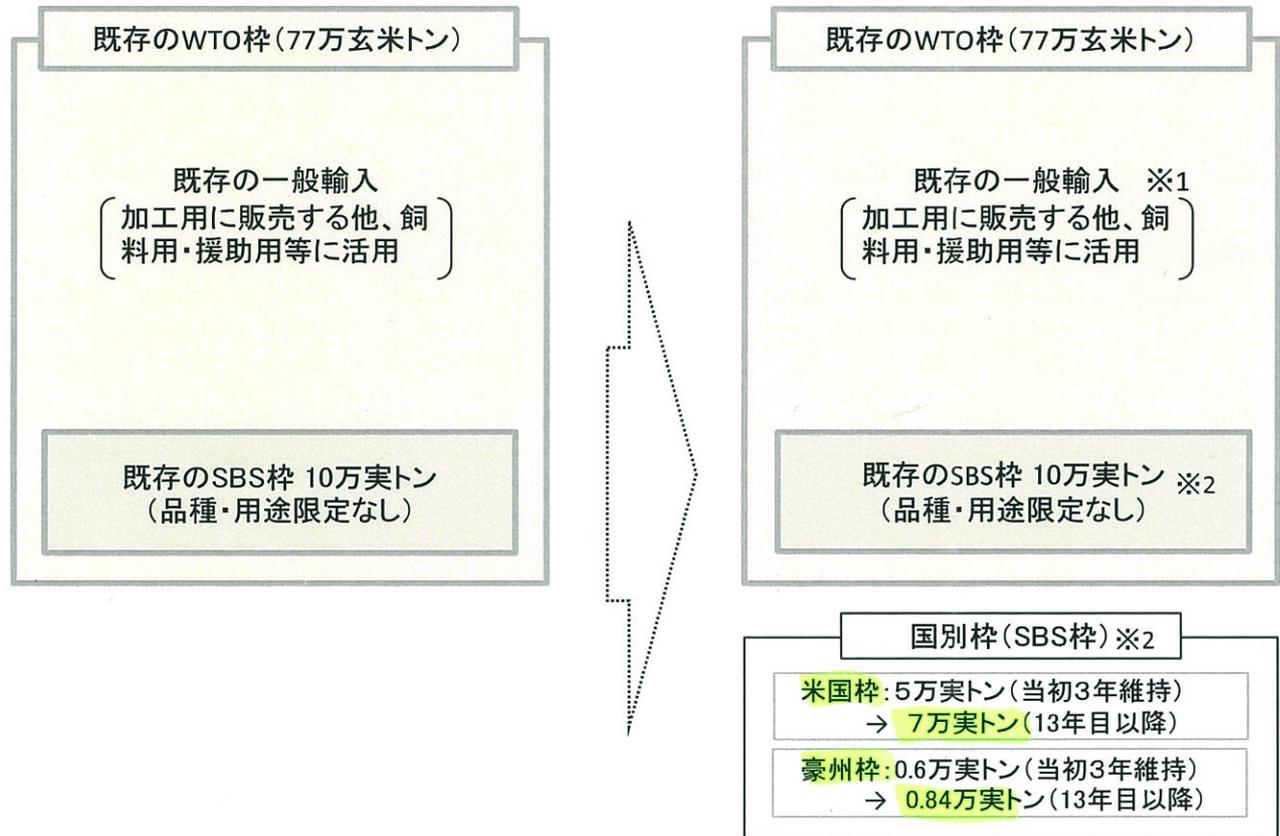
種類	数量	買入価格	買入価格(税込)	売渡価格	売渡価格(税込)
うるち精米短粒種	12,016	167,293	175,658	290,627	305,158

# 米

## 米及び米粉等の国家貿易品目

■ 現行の国家貿易制度を維持するとともに、枠外税率(米の場合341円/kg)を維持した上で、米国、豪州にSBS方式※の国別枠を設定。(国別枠は、米と米粉等の国貿品目を対象として一体的に運用。)

※注:SBS方式とは、国家貿易の下で、輸入業者と国内の実需者との実質的な直接取引を可能とする売買方式。



(注)※1 国内の需要動向に即した輸入や実需者との実質的な直接取引を促進するため、我が国は、既存のWTO枠のミニマムアクセスの運用について見直しを行うこととし、既存の一般輸入の一部について、中粒種・加工用に限定したSBS方式(6万実トン)へ変更する予定。

※2 円滑な入札手続を行うため、透明性向上の観点から、SBSの運用方法の一部について、技術的な変更を行う予定。

## 米の調製品・加工品等(民間貿易品目)

■ 一定の輸入がある品目等は、関税を5～25%削減。(合計13品目)

- ・米粉調製品(加糖): 23.8%→17.8%(▲25%・6年目)[TPP参加国からの輸入量:約1万6千トン(2011～13年平均)]
- ・米粉調製品(無糖): 16.0%→13.6%(▲15%・4年目)[TPP参加国からの輸入量:約4千トン(2011～13年平均)]
- ・その他11品目 : ▲5%の即時削減

■ 輸入量が少ない又は関税率が低い品目等は、関税を削減・撤廃。(合計16品目)

- ・穀物加工品(粟粥等): 21.3%→5.3%(▲75%・6年目)[TPP参加国からの輸入量:約130トン(2011～13年平均)]
- ・その他15品目: 0～11年目で関税撤廃

## 米国内の TPP 承認に対する発言について

「私は反対する。選挙後も大統領として反対する」

(2016年8月11日の中西部ミシガン州での集会にて)

出典：2016年8月12日 日本経済新聞夕刊

米国大統領候補者  
クリントン氏 (民主党)



米国大統領候補者  
トランプ氏 (共和党)



「米国の製造業を壊滅させるだけでなく、米国を外国のルールの下に置く」、「米国の労働者を傷つけ、自由と独立を制約するいかなる貿易協定にも署名しない」

(2016年7月21日の党大会での指名受諾演説にて)

出典：2016年7月22日 日本経済新聞夕刊

米国議会関係者  
ライアン下院議長  
(共和党)

「法案を今、採決されれば否決される。否決される法案を採決する考えはない」、「現時点では議会で可決されない。可決するには、協定の修正が必要だが（オバマ政権は）実行していない」

(2016年9月8日の記者会見にて)

出典：2016年9月9日 日本経済新聞夕刊

米国議会関係者  
マコネル上院院内総務  
(共和党)

「環太平洋経済連携協定（TPP）を上院が年内に承認することはない」

(2016年8月25日ケンタッキー州の農業団体との会合にて)

出典：2016年8月26日 日本経済新聞夕刊

## 最近の TPP をめぐる状況

ベトナム

ベトナム国会は22日、来年20日開会予定の次期国会で環太平洋連携協定（TPP）の批准を見送る方針を固めた。

(2016年9月22日 時事通信)

平成 28 年 9 月 28 日  
本会議代表質問  
民進党 蓮舫代表の質問に対する  
安倍総理大臣答弁を抜粋

新たに設立される米国、豪州向けの SBS の国別枠において輸入される米については、輸入量に相当する国産米を備蓄米として買い入れることにより、国内の需給及び価格に与える影響を遮断することとしております。TPP の影響試算はこのことを前提としたものであり、政府の説明が有名無実化すると指摘は当たらず、やり直しの必要はないと考えております。



平成 28 年 4 月 22 日  
TPP 特別委員会  
民進党 村岡敏英議員の質問  
に対する  
森山国務大臣答弁を抜粋

仮に TPP 国別枠の全量が輸入されたといたしましても、国別枠の輸入量に相当する国産米を政府が備蓄米として確実に買い入れるということを約束しておりますし、国別枠の輸入量の増加が国産の主食用米の需給及び価格に与える影響を遮断することとしているわけですので、国内生産には影響がないというふうに考えております。

委員御承知だろうと思えますけれども・・・国産米の価格とアメリカ産の SBS の価格の比較でございますけれども、平成 25 年は、国産米の業務用銘柄が 223 円ございました。SBS は政府売り渡し価格が 223 円でございますので、一緒でございます。また、平成 27 年は、国産米の業務用の銘柄が 197 円でございますので、SBS の政府の売り渡し価格は 199 円ということで、こちらの方が少し高くなっているというのが現状でございます。



## S B S方式の輸入米に係る調査について

- ・ S B S方式による輸入米に関して、「輸入業者と買受業者間の金銭のやりとり」が行われているとの報道があったことから、現在、輸入業者、買受業者等の関係業者に対し、金銭のやりとりの有無、あった場合の金銭の趣旨等についてヒアリングするとともに、S B S米の入札と国産米価格の関係の分析等を行っているところ。
- ・ 本件に関しては、総合的に全体としてご理解頂けるよう、作業を急いでいるところであり、できる限り早期に取りまとめて公表することとしたい。

## SBS方式の輸入米に係る調査について

### ○調査の趣旨

SBS米取引（輸入業者、国、買受業者の3者契約）については、今回報道されているケースにおいても食糧法令上の問題はないが、報道されている民間事業者間の金銭のやりとりについて、民間事業者間の問題とはいえ、生産者に不信感を生じさせるとの問題も指摘されていることから、念のため、農林水産省が調査を実施。

### ○調査の内容

#### （1）関係事業者からのヒアリング

##### <対象>

SBS米落札業者（買受業者100者以上、輸入業者20者以上）等の関係事業者

##### <項目>

- ・ 金銭のやりとりの有無
- ・ 金銭の活用方法
- ・ 金銭のやりとりが生じた背景・目的 等

#### （2）関連データの分析

#### （3）その他